

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 岐阜愛知観光施設ネットワーク形成推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

電話番号：058-272-1111(内3934)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000 千円 (前年度予算額： 3,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜・愛知には、自動車・航空機などのモノづくり産業、窯業・繊維などの伝統産業、城や武将などの歴史・文化資源など、両県共通の観光資源が豊富にあるが、これらを両県が共同してPRを行うなど連携した取組ができていないため、両県を訪れる観光客を互いの県に呼び込む流れを創出できていない。

そこで、愛知県と連携して、両県を訪れる観光客の広域周遊を促進するとともに、本県への更なる誘客を図る。

(2) 事業内容

岐阜・愛知両県の観光資源を活用した広域観光を促進し、観光交流人口の拡大、更には観光消費額の増大を図るため、以下の事業を実施する。

①情報発信の実施

- ・産業観光・武将観光施設を紹介するWEBページの作成
- ・雑誌やWEB等のメディアを通した両県の周遊を促すプロモーションを実施

②周遊企画の実施

- ・①に掲載された施設を巡るデジタルスタンプラリーの実施

③体験型産業観光の推進

- ・体験型コンテンツによる産業観光の推進企画を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

愛知県と岐阜県で1：1負担（各県3,000千円）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	3,000	WEBページ作成経費、スタンプラリー実施経費 等
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④ 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

(2) 事業主体及びその妥当性

愛知県と連携して取り組む事業であるため、県が事業主体として実施することが妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の観光資源や旅行プランを積極的にPRすることで、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。

第1ステージ（H20-H24）観光資源の掘り起こしとブランディング〈点の拡大〉

第2ステージ（H25-H29）宿泊滞在型観光の本格展開 〈点から線へ〉

第3ステージ（H30-）岐阜ならではの宿泊滞在型観光の定番化 〈線から面へ〉

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		4,013億円	3,300億円	3,450億円	3,600億円	111.5%
②観光入込客数 (実数)		4,470万人	4,900万人	5,100万人	5,300万人	84.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> 産業観光・武将観光パンフレットの作成 両県の産業観光施設、武将観光施設を巡るスタンプラリーの実施 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 両県の観光PRツールの作成により、広域周遊の促進が図られた。 産業観光・武将観光パンフレット：6万7千部配布 スタンプラリー応募実績：4,749件
	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%
令和5年度	【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> 両県の産業観光施設、武将観光施設を巡るデジタルスタンプラリーの実施 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 両県の観光PRツールの作成により、広域周遊の促進が図られた。 スタンプラリー応募実績：2,015件
	指標① 目標：2,900億円 実績：3,044億円 達成率：105%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 両県の産業観光施設、武将観光施設を巡るデジタルスタンプラリーの実施 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 両県の観光PRツールの作成により、広域周遊の促進が図られた。 スタンプラリー応募実績：1,750件
	指標① 目標：3,100億円 実績：4,013億円 達成率：129.5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	・観光滞在時間及び観光消費額の増大を図るためには、両県に存在する各観光施設を点ではなく線で繋ぎ、観光客を広域周遊させる仕組みを作ることが必要である。 ・また、併せて、各観光施設の関連産業等での観光消費拡大が必要であり、本事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	本事業を通じ、両県の連携が進み、相互に両県の魅力を発信できる体制の整備が進みつつある。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	愛知・岐阜広域観光推進協議会の開催等を通じ、関係者間の情報共有が図られ、事業が効果的かつ効率的に進められている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・観光消費につながる情報発信・商品造成等 ・各観光施設の受入環境の整備・強化

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・引き続き両県に共通する観光資源である「産業観光」をテーマとし、若年層へより効果的な浸透を図るため、WEBページの作成、デジタルスタンプラリーを実施する。 ・ウェブサイトやSNS等を通じて両県の周遊を促すプロモーションを実施するとともに、観光消費拡大に向けた事業を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】